

入間野小学校の環境整備等に係る意見・要望に対する対応

No.	意見・要望	区分	対応の内容
I 学習環境（施設設備）の整備について			
1	冷暖房設備はついているのか。	行政	平成20年度に冷暖房工事を実施した。
2	耐震補強工事は完了しているのか。	行政	平成19年度に耐震補強工事を実施した。
3	教室の収納スペースが少ないので収納場所を多くしてほしい。	行政	不要な消音ボックスを撤去し、スペースの拡大を図る。
4	放送が教室に入らないときがあるので、老朽化した放送設備を新しくしてほしい。	行政	老朽化が原因の機器不良や絶縁不良が認められるため、今後改修を行う。
5	体育館の放送設備の調子が悪い（雑音が入る、ワイヤレスマイクの音声が途切れるなど）。		
6	18クラスを超えると少人数指導や学年指導で活用している余裕教室がなくなるが、校舎の増築などは考えているのか。	行政	現在の推計では18クラスを超えることはないので、増築は考えていない。
7	防犯の点から、2階にある事務室（受付）を1階に移せないのか。	行政	現状のままとするが、防犯上の観点から平成22年度に各教室にインターホンの設置を予定している。
8	給食の配膳室が狭くて大変なので、広くしてほしい。	行政	配膳室を広げることは難しいため、使用方法等を工夫する。
9	図書室の書棚を増やしてほしい。	行政	図書室に収納する本の状況により、書棚の整備を検討する。
10	プールから出た後は、腰洗い槽を経由しなくても直ぐにシャワーを浴びることができるようにしてほしい。	行政	平成22年度に実施するプールの改修のなかで対応する。
11	プールを整備してほしい。	行政	平成22年度のプール改修は、プールの塗装やろ過機の改修を予定している。
12	児童用下駄箱の幅が狭いので、もっと広くしてほしい。	行政	現状のままとする。
13	入間小にある20台の児童用パソコンは南小と分けてほしい。	行政	全市的な整備計画（2人につき1台）に基づき、統合後もパソコンの台数は他校同様20台とする。

No.	意見・要望	区分	対応の内容
14	洋式トイレの増設及びトイレの改修工事（とくに東側トイレ）をしてほしい。	行政	平成23年度に予定しているトイレの改修工事に併せて、洋式トイレを多く配置する。
15	トイレは悪臭がひどいので、改修してほしい。	行政	平成21年7月に実施した専門業者のトイレ清掃により、悪臭は改善された。
16	冷水機を各階に設置してほしい。	行政	現状のままとする。
17	廊下のビニル床シートがはがれている。	行政	段階的に補修を行う。
18	校庭のバスケットコートがデコボコなので整備してほしい。		
19	校庭は、コケが生えていて水はけが悪いので整備してほしい。	行政	夏場に雨の日が続くと一時的にコケが生えるなど、水はけの悪い状況は認められるので、他校の状況も考慮したうえで対応していく。
20	教職員が10人程度増えることが見込まれるが、現状のままでは自動車を置くスペースが足りない。	行政 学校	まずは現状の駐車スペースの中で使用方法を工夫する。その後、必要に応じて整備を検討する。
21	学校までが遠くなってしまうため、授業参観や会合などは車で行くことになる（とくに天気の悪い日）と思うので、そういう時のための駐車場を用意してほしい。	学校	徒歩又は自転車での来校をお願いしている。
22	シュレッダーや拡大機、印刷機などはどうなるのか。	行政 学校	シュレッダーや拡大機等の備品の取扱いについては、3校間で協議する。印刷機及びコピー機（リース物品）の取扱いについては、全市的な整備計画に基づき、統合後も1台とする。
23	校舎内西階段の壁は、ひび割れが目立つ。	行政	平成22年度に実施する廊下の塗装改修と併せて修繕を行う。
II 学校の運営について			
24	特別支援学級が置かれるのは南小だけになるのか。	行政 学校	南小学校は、既設の自閉・情緒障害学級に加えて知的障害学級も併せて設置する予定であり、さらに近隣の小学校にも特別支援学級を新たに設置する予定である。なお、入間野小学校は、施設規模の観点から特別支援学級の設置は予定していない。

No.	意見・要望	区分	対応の内容
25	学童保育室の場所はどこになるのか。	行政	入間小の児童が現在利用している入間学童保育室(入曽乳児保育所隣)は、学校の統廃合を機に廃止となるため、入間野学童保育室(入間野小敷地内)又は南小校舎内に設置予定の学童保育室を利用することとなる。
26	学童保育は、人数が増えることで定員オーバーによる入室待ちになると思われるが。	行政	統合により利用児童が増えるため、指導員の増員や施設の拡張等を行う。
27	学童保育の職員増及び施設の拡張は考えているのか。		
28	自治会や子ども会の役員をしていけば、PTAの役員は免除されるのか。	学校 保護者	今後PTA間で協議していく。
29	PTAの本部役員やクラス役員経験者については、統合先での役員活動は免除されるよう配慮してほしい。		
30	PTAとおやじの会の合同事業などを計画してはどうか。	学校 保護者	相互で協議して決める。
31	おやじの会を強化してほしい。	学校 保護者	今後協議していく。
32	平成22年度の教育課程は、なるべく3校でそろえたい。	学校	今後協議していく。
33	入間小で行っている縦割り遠足のように、他の学年の子ども達と交流する機会があればいい。		
34	体育着などは新しいデザインにしてほしい。	学校	入間野小学校で現在使用しているものを継続する。
35	持ち物は、すべて入間野小のものを採用するのではなく、お金のかからない方のものを採用すればいいと思う。(例えば、上履きは入間野小のものよりも入間小のものの方が安い。)	学校	すべて入間野小学校の規格のものを採用する方向で考えている。
36	体育着や上履きなど違うものはどうするのか。		

No.	意見・要望	区分	対応の内容
37	入間小で揃えたものは、統合後の学校でも買い替えることなく通わせたい。	行政 学校	入間小学校から編入する児童の名札と学年帽（水泳帽含む）は、市から支給する。体育着と上履きは、買い替えの時まで入間小の規格のものを使用し、買い替えの際に入間野小の規格のものを購入してもらう。
38	体育着などについては、例えば6年生で動いた場合は1年間だけだから、今までのものをそのまま使わせるのではなく、すべての児童を対象に現物支給もしくは購入費を助成してほしい。		
39	事前交流があれば安心だ。	学校	事前交流の実施に向けて、学校間で協議を進めている。
40	親にも事前交流の機会があればいい。	学校 保護者	今後PTA間で協議していく。
41	教職員の異動には配慮してほしい。	行政	教職員人事は県教育委員会の権限だが、両校の教職員がバランスよく配属されるよう市教育委員会から要請する。
42	市費対応の職員の数を増やしてほしい。	行政	統合当初は、市費採用の非常勤講師の数を増やすなどして、児童の指導に遺漏のないように対応していく。
43	環境が変わったときの子ども心のケアができる体制を整えてほしい。	行政 学校	統合に伴う環境の変化に対応できるように、事前交流は密に行っていく。また、市採用の非常勤講師の数を増やすなどして、児童の心のケアに対処できる体制を整えていく。
44	入間小の児童が肩身の狭い思いをしないように配慮してほしい。	行政 学校	入間小学校の教職員の配属について要請するとともに、統合後、子ども同士がうまく馴染めるように、事前交流を実施する。
45	教育特区を利用して、少人数クラスや複数担任制度を導入してほしい。	行政 学校	現在のところは考えていない。
46	少人数学級（30人前後）になれば、統合後のゴタゴタが少なくなるし、教師の目も行き届くと思う。	行政	県の学級編成基準により、1クラスの人数は、1・2年生は35人、3～6年生は40人を上限に定められているが、統合当初は市採用の非常勤講師を多く配置するなどして、児童の指導に遺漏のないよう対応していく。
47	平成23年度の新6年生に関しては、修学旅行などの行事を楽しく過ごせるように、入間小と入間野小の児童が混ざり合ったクラス編成は避けてほしい。	学校	両校の児童が互いに協力し合いながら学校生活を築いていってもらうため、6年生についても両校の児童が混ざり合った形でのクラス編成を行う。
48	統合後の卒業アルバムには入間小の思い出も載せてほしい。	学校	今後協議していく。

No.	意見・要望	区分	対応の内容
49	給食容器について、現在使用しているプラスチックでは熱いものを入れると溶けて有害なので、他市のように陶器にしてほしい。	行政	学校給食センターで使用しているポリプロピレン製の容器は、食品衛生法の基準を満たしているが、将来的には磁器製のセパレート式の食器を導入する予定である。
50	不審者からの防犯対策はしっかりやってほしい。	行政 学校	不審者対応マニュアルに基づき、校舎内外の警備巡回、来訪者の確認、研修会など必要な対策を講じている。また、平成22年度には各教室にインターホンの設置を予定している。
51	当面は1年生だけでなく2・3年生も集団下校にしてほしい。	学校	今後協議していく。
52	施設や設備についての意見要望と言われても見なければわからないので、学校の見学会を設けてほしい。	学校	平成21年3月に、2回に分けて実施した。
53	学校の間取りなど覚え直さなければいけないことが多いので、学校施設等の内容を記載したプリントを配ってほしい。	学校	統合の前年度にはプリント等でお知らせする。
54	入間小で飼っている動物はどうなるのか。	学校	今後協議していく。
Ⅲ 統廃合全般について			
55	入間小だけの廃校なのか、それとも新設校になる可能性もあるのか。新設校となれば、校歌や校章などの選定について準備を並行して進める必要があると思われるが。	行政	入間小学校を廃止し、統合先の入間野小学校及び南小学校に編入統合する形をとるため、統合校の校歌校章は継続する。
56	現在の入間小と入間野小の耐震強度を教えてほしい。	行政	耐震診断の結果、入間小学校のI _s 値（構造耐震指標）が0.28であることが判明したため、0.3以上を確保するための緊急工事を行った（学校施設の耐震基準はI _s 値0.7以上）。入間野小学校は平成19年度に耐震補強工事を実施済みである。
57	入曽駅東口地区基本構想図は、平成15年度作成のものではなく、いま現在のものを見せてほしい。	行政	入曽駅東口地区の都市計画の構想に係る公聴会を平成21年11月に開催し、構想図を公表した。
58	駅前開発の見通しが立っていないなら、入間小の統廃合は進めるべきではない。	行政	公聴会を開催するなど平成21年度の都市計画決定に向けて手続きを進めている。
59	入間小が廃校になっても、駅前開発が進まずにそのままの状況では子供たちが救われない。		

No.	意見・要望	区分	対応の内容
60	歴史のある学校をなくすのは残念だが、校舎の老朽化もあるので、子供たちにはより良い環境で学習させてあげたい。	行政	入間野小学校は耐震補強工事を実施済みであり、さらに統合に向けて教室照明の改修等教育環境の整備を図っていく。
61	統廃合によって、その時は混乱や心情面で複雑な思いが出ると予想されるが、長い目でみれば止むを得ないことだと思う。	行政	小規模校には小規模校の良さがあるが、今後も児童数の減少が見込まれるなか、充実した教育環境を提供するためには、一定の学校規模を確保する必要があると考えている。
62	入間小学校の歴史を何らかの形で残してほしい（記念誌、アルバム、公園内にケヤキの木や遊具など）。	行政	今後協議していく。
63	緊急時の避難場所は現在は入間小だが、統合後はどこになるのか。	行政	自治会ごとに、あらためて他の避難場所（入間中など）を決めてもらうこととなる。
64	これから入学する児童の保護者からも話を聞く機会ができればいいと思う。	行政	統廃合の説明会は、開催通知を近隣の保育所（園）及び幼稚園にも配布したうえで実施した。